

観光シーズンの幕開け

鬼の舌震川開き

名勝天然記念物「鬼の舌震」で四月二十五日、川開き安全祈願祭が行われました。神事は例年、玉日女神社参道で行われますが、吊り橋工事のため、今年は下高尾駐車場で観光協会、地元団体など約三十人が出席し、観光シーズン中の無事故を祈願しました。

観光協会副会長の勝田副町

長から「吊り橋が五月下旬、遊歩道が来春完成する予定であり、すべてがバリアフリーとなり中高年者をはじめ多くの観光客でにぎわうことを期待している」とあいさつがありました。

この鬼の舌震には年間約十万人の人が訪れ、四季折々の雄大な風景は毎年多くの人を楽しませます。



▲神事の様子

カタクリの花満開

船通山カタクリ登山



▲横田山の会による紙芝居

船通山山頂に自生するカタクリの群生が見ごろを迎え、四月二十九日、恒例のカタクリ登山が行われました。

今年も県内外から多くの参加者があり、横田山の会から船通山の自然の説明を聞きながら頂上を目指しました。

山頂にはカタクリの群生が約千五百平方メートルに広がり、薄紫色の可憐な花びらを反り返



カタクリの花

らせて咲く愛らしい姿で登山者を迎えました。また、昼食時には横田山の会による紙芝居が行われ、カタクリがユリ科の多年草で開花までに七年を要することなど、カタクリの生態や特徴の説明があり、登山者は興味深く耳を傾けていました。

この日は好天に恵まれ、登山者は春風に揺れるカタクリや大山・日本の眺望を楽しんでいました。

アメモムラクモノツルギ お披露目

刀匠小林一門展

四月二十八日から五月六日にかけて、奥出雲たたらと刀剣館にて刀匠小林一門展が開催されました。

開催に先立ち、オープニングセレモニーとして「アメモムラクモノツルギ」の完成披露がありました。古事記や日本書紀に登場するものと同じ名を冠するこの剣は、神楽で使用することを目的に、奥出雲神代神楽社中から依頼された小林貞永刀匠により作刀されたものです。

小林刀匠から「自分の中に浮かんだイメージと神楽社中のイメージをすりあわせながら完成図を描いた。また、神楽で使うため切れない刀を作ること初めの挑戦だったが、無事引き渡すことができ、うれしく思う」と完成までの苦労や喜びについて話されました。

神楽社中が、剣の名を汚さないように神楽を伝承していくことを約束します」と力強く誓いを述べました。

また、六日には、このアメモムラクモノツルギを使った神楽が披露されました。約五十人の観覧者の前でヤマタノオロチの尾から取り出された剣は、他の刀とは異なる古代の風情を醸し出していました。

また、会場では小刀制作や島根抜刀会の抜刀実演など多くのイベントがあり、特に日本刀鍛錬実演では、刀工の説明に対し見学者が熱心に質問する姿がみられました。

実演の最後には鍛錬体験があり、参加者は緊張しながらも刀工から指示を受けながら、真剣に取り組んでいました。



▲アメモムラクモノツルギの説明をする小林貞永刀匠

平成24年度自治会長会開催

四月十五日、カルチャープラザ仁多において、平成二十四年度自治会長会が開催され、自治会長、町執行部など約百五十人が出席しました。

はじめに、永年にわたり自治会長として地域の振興と発展にご尽力いただいた、岩佐捷治さん(横田)、田部隆義さん(三沢)に井上町長から感謝状が贈られました。

また、今年度の自治会長を代表して、八川地区・三井野自治会の北野博幸さんに井上町長から委嘱書が交付されました。

会議では、町執行部から、今年度の主要施策、予算、事業日程の説明などが行われました。

(今年度の自治会長名簿は、広報四月号に掲載しています。)



▲委嘱書を受ける北野自治会長(左)

自治会長連合会役員 各地区自治会長会会長が決定

◆自治会長連合会

会長 石原 肇
副会長 石原 吉徳

◆各地区自治会長会会長

- ・布勢地区 石原 肇
- ・三成地区 川 西明徳 (上三成中)
- ・亀嵩地区 重 栖保久 (西湯野)
- ・阿井地区 渡 部充
- ・三沢地区 友 塚正巳 (鑄物屋)
- ・鳥上地区 堀 江康輔 (山県)
- ・横田地区 杠 洋二 (馬場)
- ・八川地区 石 原吉徳 (雨川)
- ・馬木地区 吉 川忠良 (旭)

暴力団から町を守る

暴力団排除調印式



▲握手をする井上町長(左)と扇畑雲南警察署長(右)

奥出雲町では、町民が安全で平穏な生活ができるよう、町が実施する入札などから暴力団関係者を排除することな

どを定めた暴力団排除条例を三月から施行しています。

この条例のもとに、警察署とのより強化された相互協力を図るため、「奥出雲町が行う契約等からの暴力団排除合意書」の調印式が四月二十日、役場仁多庁舎で行われました。

式では、井上町長から「町民が明るく安心して生活できるような暴力団のはびこりは絶対に許してはいけない」、扇畑隆吉雲南警察署長からは「合意書の締結により町と署との協力・連携がより一層強化され、暴力団の介入の余地はありません」と、共に暴力団排除に向けた決意を述べました。

続いて、町長と署長がそれぞれの合意書に調印。今後の連携強化と相互協力を確認し握手をしました。

今後も町と町民、警察署が一層協力し、暴力団のいない安全な町づくりをしましょう。

世界で活躍する地元ホッケー選手を応援

ロンドン五輪最終予選、パブリックビューイング

四月二十五日から五月六日にかけて岐阜県グリーンスタジアムにおいてロンドン五輪ホッケー世界最終予選が行われ、奥出雲出身の男女各二名の選手と女子コーチ一名を応援しようとパブリックビューイングが開催されました。

会場は、カフェシナトラ(横田)と玉峰山荘の二会場。両会場に用意された大型スクリーンに映し出されるスピードアイーナ試合展開や一進一退の攻防に、応援にかけつけた人たちは熱い声援を送りました。

と話していました。

ロンドン五輪での山本由佳理選手(八川)、大家志穂選手(八川)の更なる活躍が期待されます。



▲玉峰山荘で応援する様子